

令和3年度長野市スポーツ推進審議会（第4回）会議録

日 時	令和3年9月27日（月） 午前9時30分～午後11時30分
会 場	長野市職員会館 3階 大会議室
出席者	委員10名（欠席委員2名）、オブザーバー1名、事務局15名
次 第	1 開 会 2 あいさつ 3 議 事 （1）第三次長野市スポーツ推進計画の素案（施策1）について 資料1～2 （2）その他 4 そ の 他 5 閉 会
議 事	（議事進行 堀江会長） <u>議事(1)：第三次長野市スポーツ推進計画の素案（施策1）について</u> 事務局より資料1～2について説明。以下質疑応答。 資料1 第三次長野市スポーツ推進計画構成案 資料2 第4章 施策の展開と具体的な取組 施策1 だれもがスポーツを楽しめる環境づくりの推進 ＜施策1-1 スポーツ人口の拡大＞ H委員：計画の中に「提供」というフレーズが出てくるが、これからスポーツを推進していくには、もう少し突っ込んだ方針を示すべきではないか。資料2：5頁②「大人世代のスポーツの習慣化の促進」で、スポーツを楽しむ実践する機会を提供するとあるが、ただ市民に機会を提供するだけではなく、自分の時代には健康優良児を表彰する制度があったが、市民のスポーツ参加の意欲を増進するために健康優良市民の顕彰制度を創設して、健康増進の目的や張り合いに繋げる機会を作ってはどうか。次に③「大学等の研究機関と連携した研究」ですが、市内にいくつか民間のスポーツクラブがあるが、入会時に会員各自が体力レベルをチェックして体力カルテを持っている。そのカルテから独自の会員プログラムを作成してメニューに沿った運動を奨励している。その点では、大学より民間スポーツクラブの方がノウハウを持っており、スポーツクラブとも連携することで即効性の高い成果が得られると思う。指定管理者制度もハード部分が強調されているが、ノウハウを活かしてソフトの部分も検証していく必要がある。他の頁でも「提供・支援」と出てくるが、主人公である市民が日頃のスポーツ活動の成果を発表できる交流会や発表

	会、市長杯を開催していく必要がある。それが大きな張り合いになり、第三次計画では前計画より踏み込んだ施策を取り入れてほしい。
事務局	：計画では生涯スポーツの動機付けがメインであり、そうした方向の施策が中心になってくる。民間スポーツクラブでも先駆的な取組をしているが、民間でできることは民間にお願いしたい。
H委員	：動機付けだけでは前計画と変わらないので、動機付けの一步先に行く具体的な施策を検討してほしい。また、民間スポーツクラブと連携してノウハウを吸収していくことも大事である。
事務局	：民間スポーツクラブとの連携も考えられるが、市では総合型地域スポーツクラブと連携して教室や講座を開催している。顕彰制度も検討していくが、現状では積極的に考えていない。
G委員	：資料2：4頁①「子ども世代のスポーツ活動の充実」は大事な施策であり、継続的にスポーツに取り組むことが重要である。主な取組「a スポーツ教室の開催」で、地域密着型プロスポーツチーム及び関係各課との連携・協力とあるが、これだとプロスポーツチームに何かを任せると読み取れる。取組の中に、子どもたちと保護者がプロスポーツと触れる機会を設ける施策を盛り込めないか。中野市では信濃グランセローズの選手が小学校で朝の挨拶をしたりして市民との触れ合いを大切にしている。そうした子どもたちが本物に触れて育成に関わっていく連携ができるとよい。「d 小学校の放課後における体力向上の機会の充実」で、遊びやスポーツなど多様な活動の機会を提供してとあるが、子どもプラザを見るとスポーツに触れるプログラムがあるのか疑問である。子どもプラザにスポーツ指導員を派遣できるのか、そこまで突っ込んで記載できるか検討してほしい。
事務局	：市ではパルセイロやブレイブウォリアーズの関係者が幼稚園や保育園に出向いて簡単な教室を開催して交流を図っている。自分の子どももパルセイロの教室をきっかけにサッカーを始めた。放課後子どもプランの関係ですが、各施設にアドバイザーを配置しており、スポーツに関わる有償ボランティアに依頼して、ひとつのスポーツ活動を横に繋げて市内全体に広げて進めていく組織体制の構築を検討している。
E委員	：具体的に連携できる大学があれば教えて欲しい。週1回以上スポーツ活動を行っている成人 59.9%に対し、スポーツが大切と認識している市民 79.7%と 20%の差があるが、市民が自主的にスポーツをすることが重要

	であり、それには指導員の育成が大切である。 事務局：NAGANO 体力・健康チェックキャラバンを開催して3年目になるが、そこで静岡県の常葉大学と連携している。 E 委員：近くの大学とも連携できればよい。 <1-2 地域における自主的なスポーツ活動の促進> C 委員：自分が所属する総合型地域スポーツクラブは会員も多いが資金面で苦勞しており、全ての活動でボランティア的な要素が多くなっている。自分も子どもたちの指導に当たっており、自身の練習ができていない。地域のスポーツ推進委員が誰かも知らず情報もないが、指導をお願いできれば連携を図りたい。住民自治協議会が実施するスポーツ活動にも協力したいが、全てボランティアになってしまうと思うので、市から支援があればいろいろ活動できると思う。 事務局：総合型地域スポーツクラブへの支援について、これまで5年間取り組んできた例として、直接市からの金銭的な支援ではなく、クラブの自立的・安定的な運営に結び付けたいと考えており、市が直営で行っていたスポーツ教室をクラブに移管し、教室の参加料金などはクラブの収入に充てている。これまでに市の教室の8割を移管して、参加者も増加しており、地域の特性に応じた教室を展開していただいている。 <施策 1-3 スポーツを通じた共生社会の実現> B 委員：生活習慣病予防とウォーキングを結び付けた情報発信をしてほしい。市のホームページを閲覧すると、ウォーキングコースは豊野地区・吉田地区・裾花川周辺しか案内されていない。毎日1時間歩くのも大変だが、5分～10分でも継続していくのが大事なので、小さいウォーキングコースの案内でもよい。具体的にこれだけ歩けば何カロリー消費するとPRできるものがあれば、指導する側も説明しやすく参加する人も継続しやすくなる。 事務局：アンケートでも散歩・ウォーキングの実施率が高いことが分かっているので、ご意見を参考にさせていただく。 <施策 1-4 競技スポーツの普及と競技力の向上> I 委員：13 頁の「競技人口の拡大」では、最近、スポーツから離れる子どもが増えている傾向があるので、スポーツを行うきっかけづくりを与える環境やスポーツをやりたいと考えてくれたときに対応できるハードとソフト
--	---

	ト、環境面を整備することが大切である。14 頁の「地域密着型プロスポーツチームとの連携」では、指導者の充実・連携が重要であり、競技人口を増加するためには有能な指導員の育成が大事である。 G 委員 : 部活動、競技団体、総合型地域スポーツクラブの棲み分けを教えてください。 事務局 : 部活動の適正化が言われており、これまで部活動が競技力の向上を担っていたが、今後どこが担うかと考えると恐らく競技団体になってくる。スポーツの親しみや楽しさは学校や総合型地域スポーツクラブが担っていくと思う。競技力の向上を考えると、競技団体が主催するクラブチームの充実を図っていく必要がある。 D 委員 : 長野市のスポーツ団体は全国的に高いレベルではないが、全国大会に出場する機会もあるので、激励金の交付を受けている。こういった活動が活発になるとスポーツに触れる機会が増えていくと思う。 事務局 : 2028 年に国民スポーツ大会と全国障害者スポーツ大会が控えている。市スポーツ協会と各競技団体でヒアリングを行うと、運営基盤の強化と競技の普及拡大が共通の課題になっている。競技スポーツの普及と競技力の向上について市スポーツ協会とも連携して推進していく。 H 委員 : テレビで全国小学生陸上競技大会を観戦したが、長野県からエントリーされている小学生が 2 名しかいなかった。ほとんどの参加選手が何らかの競技団体に所属していたが、残念ながら長野県は後進県と認識した。エムウェーブでの全国中学校スケート大会の固定開催は本当に素晴らしいことである。高校野球なら甲子園というように、エムウェーブをブランド化していく上で、全国大会を 20 年間開催することは大きな意義がある。エムウェーブをひとつのステイタスにしていくには絶好の機会である。全国のスケート選手たちが長野市のエムウェーブを目指すのはひとつの成果ではないか。 I 委員 : 市でコーチバンクを立ち上げて Web サイトで情報発信してみてはどうか。子どもがこういう競技をやってみたいが、どうやってスタートするのか分からない場合、スポーツの垣根を超えて総合的な情報提供の環境が整っていると、子どもと保護者が競技に参加するきっかけになる。飯田市では 2 年前から毎年 1 か月間、全ての学校で部活動を休みにして、その期間、プロチーム、例えばサッカーなら松本山雅からコーチを招集して、普段部活に入っていない生徒も含めて全員参加できるスポーツ教
--	---

	室を行っている。こうした取組があると、よりスポーツに親しむことができる。 事務局 : Do! Sports ながのという形で市のホームページにスポーツ指導者を紹介しているが問い合わせが少ないので、見せ方を研究したい。全体的な話になるが、部活動の適正化を研究している中で、国で東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機に、大きく日本のスポーツの在り方を変革していきたいと聞いている。これまで学校の部活動で競技力の向上を進めてきて、それは日本の文化として世界に類のない素晴らしい功績を残してきたが、学校現場で大きな負担になっているのが実情である。より競技力を向上していくため、学校から別のところにスポーツの拠点を移していかないとこれ以上の発展はないと考えられている。部活動の適正化を進めていく中で、この先、地域や競技団体また企業へ拠点を移すこともあり得る。スイミングスクールは民間の育成機関が発達しておりアスリートを育成していく形が進んできている。子どもたちも部活動ではなく、競技力の向上が図れるクラブチームを選んでアスリートを目指していくということを令和5年度を目途に全国的に進めていこうと国が大きな目標に掲げている。市でも競技団体がその受け皿になるにあたり、運営基盤を強化しないと体制が整えられないので、運営基盤の安定化を図りながら、この5年間で国に沿った取組を進めていきたいと考えている。 A委員 : コロナ禍の状況でスポーツ少年団の加入が激減している。子供達の競技スポーツの入り口であるスポーツ少年団の加入減少は大きな問題である。競技力の向上についても様々な問題を抱えており、長野県は冬のスポーツは優秀な選手を輩出しているが、夏季大会になると国体でも点数が取れず北信越大会でも勝ち抜けない状況である。指導者の問題、全国大会が開催できる素晴らしい施設はあるが、練習会場やナイター設備の会場が整備されていないという問題もある。現状では社会人が就労後に練習することに支障が生じている。こうしたこともクリアしないと競技力が向上しない。 <施策 1-5 スポーツ施設の適正配置・長寿命化と管理・運営> J委員 : 一般のスポーツチームで活動しているが、社会体育館が無料で有難い。松本市は有料である。改修費が掛かる場合有料でも良いと思う。 H委員 : 富山・金沢はポケットパークの利用が上手い。バスケットゴールがあると子どもたちが利用している。いつでもだれでも利用できるスポーツの取っ掛けになるので、長野市にあってもよいと思う。街中に市民が予
--	---

	約をせずにボールひとつで行こうかと思える施設があってもよい。 事務局：市では公共施設マネジメント指針ということで、全庁で総量を減らしていくことに取り組んでいる。これから市の収入が減少していく中で、頭の痛い話である。今後、公共施設の個別施設計画等で検討しながら進めていかざるを得ない状況である。北部スポーツ・レクリエーションパークにスケートボードパークがあるが、オリンピックの影響で8月の利用者が大変増えている。市民ニーズに注視していきたい。 E委員：エムウェーブやアクアウイングを大切にいただき、スキー・スケート・スイミングを市の重点強化競技にしてもよい。また、アクアウイング・サンアップル行きのバスの休日運行本数が減らされており、高齢者や障害者のアクセスの支障になっているので本数増加を検討してほしい。 F委員：50歳過ぎて、市主催の初心者教室に参加してソフトテニス始めた。教室が終了したときに個人チームに誘ってもらい、今も続けている。教室を開催するだけでなく、その後チームを紹介してもらえると続けられる。 事務局：教室は動機付けとして、継続して続けられる工夫を取り組んでいく。競技団体やプロスポーツチームとも連携して情報発信していく。 C委員：長沼体育館は愛護会が当番で掃除をしていたが、いろいろ体育館を利用すると使い方が汚い。他の体育館も掃除当番を決めてはどうか。 F委員：システムから予約する前は、利用団体が交代で掃除していた。予約制になりアリーナ内は掃除するが、それ以外のトイレや着替え場所は掃除しなくなり汚れた状態が続いている。 事務局：同様の意見をいただいている。巡回職員で対応しているが施設数も多いので、今後どうしていくか検討したい。 I委員：施設が無料だとこうした問題が起きるので、少額でも利用料金が必要だと個人的には思う。また、街中のポケットパークは必要だと思う。遊具が無くなり芝生だけの広場になっており、公園が面白くないとの意見もある。寄付を募り、1パーク1リンクのようにバスケットゴールを作るアイデアもあるが、そうした活動は可能なのか。
--	---

	事務局：市内にも 3 x 3 のリンクが数か所設置されているが、設置場所を考慮しないと騒音等の苦情もあるので、市民ニーズに応じて検討したい。 <u>議事(2)：その他</u> オブザーバー：県でも第三次スポーツ推進計画に向けて審議会を開催しており、策定を進めている。資料の中にもある SWAN プロジェクト（冬季競技のメダリストを育成する）では本年度 13 期生として 44 名の募集があった。これから第一次・第二次選考を経てスタートする。年明け到北京オリンピックがあるので、来年度は更に募集者が増えると考えている。 文化スポーツ振興部長挨拶 以上
--	--